

※対面＋オンライン形式により開催します。

- ・定員は対面 40 名、オンライン 60 名とし、それぞれ先着順のもと個人会員と特別会員から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合がございます。参加人数に余裕が生じる際は非会員の方も受け付けます。
- ・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には所定の作業の終了後に土木学会継続教育 (CPD) に関する参加証明書を交付しますが、他団体への単位申請が認められないケースがあるとのことです。他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染状況や災害の発生など、場合によっては中止となる場合がありますのでご了承ください。

令和 3 年 10 月 15 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 171 回）のご案内（対面＋オンライン形式）

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 3 年 10 月 29 日（金）14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：(対面)建設業協会佐賀 3F 会議室+(オンライン)Microsoft Teams

話 題：プレファブリケイティッドバーチカルドレーン（PVD）工法に関する近年の動向と適用事例

講演者：錦城護謨（株） 土木事業本部技術営業室 室長 白神 新一郎 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

プレファブリケイティッドバーチカルドレーン（PVD）工法および真空圧密工法は、軟弱地盤上の盛土造成において圧密促進を行う場合に適用される工法である。近年は、新たな知見に基づいた適用範囲の拡大がなされており、例えば PVD 工法では、それまで不適とされていた泥炭地盤への適用や、サンドマットの代替材に水平ドレーン材を敷設する用法などがある。また真空圧密工法では、軟弱層内に砂層が介在し地下水の汲み上げが懸念される地盤への適用や、周辺変位の抑制効果に着目した適用などがある。

本講演では、工法について概要を述べるとともに、近年の動向や道路盛土（特に高盛土）への適用事例を紹介する。

※参加申込について

参加希望の方は「対面」と「オンライン」のどちらを希望されるか明記の上、**10/21（木）・12:00** までに必ずメールでご連絡ください。

なお、オンラインでの受講の場合、お一人につき 1 つメールアドレスが必要になります。1 つのメールアドレスで複数人のお申込はできませんので、ご了承ください。

※参加費について

当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費（1,000 円）が必要です。対面での受講をされる方は当日の受付でお支払いください。オンラインでの受講の方は後日請求書をお送りしますので指定の口座にお振込みください。

※参加証明書について

土木学会の CPD プログラムに認定されています。

ご必要の方には研究会の終了後に Microsoft Forms を用いて下記の各項目に関するご回答をいただきます。内容確認でき次第、参加証明書をお送りします。なお、コピー&ペースト類似度チェックツールを用いてご回答の内容を照合し、コピー&ペーストと判断されたご回答については参加証明書を発行いたしかねますので、くれぐれもご注意の上、ご自身のご理解によりご入力ください。

- a) ご氏名
- b) おふりがな
- c) ご所属先
- d) ご役職
- e) ご所属先郵便番号（兼・参加証明書郵送先）
- f) ご所属先住所（兼・参加証明書郵送先）
- g) ご所属先 TEL
- h) ご所属先 FAX
- i) 講演内容のポイント（最低 100 文字）
- j) 講演内容に関する質問・感想（最低 100 文字）
- k) その他

※令和 3 年 8 月 10 日より連絡先が変わりました。

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

（公財）佐賀県建設技術支援機構内

=====